

2015年6月

留学先決定に至までの経緯

2015年 Funai Overseas Scholarship 奨学生
Harvard Business School / MBA 課程
塩出 晴海

2014年8月に三井物産株式会社を退職し、Harvard Business School の MBA 課程に進学しております塩出晴海です。私の留学先決定に至までの経緯について、以下の通りご報告申し上げます。

MBA を目指した経緯

13歳の頃、父の実家に長らく眠っていた旧式で緑色の文字しか表示出来ないコンピュータと出会いました。父が始めた買ったコンピュータです。そのコンピュータを自宅まで持ち帰り、生まれて初めて Basic という初歩的なプログラム言語で Space Invader を作ったのです。絵を描いたり、プラモデルを作ったり、文章を書いたりすることが好きだった私にとって、プログラミングとはまさに新しい世界を作り上げることの出来る極めて創造的な道具のように映りました。この経験が、私が世の中に新しい価値を生む創造的な仕事をしたいと考えるようになった契機だったように思います。

また、殆ど同じ時期、父が Play Station 用のレーシングゲームを新設したベンチャーで開発・販売を開始致しました。父は、ゲームの開発に際して、私にそのレーシングゲームを試させ、意見を求めてきました。実際のゲーム開発に関与し、ベンチャー事業の片鱗を見ることは、私にとって非常に触発的な経験でした。ある日、父はトイレに閉じこもり、“Ready Go!” と叫んでいたことがありました。突然どうしたものかと家族一度驚いていましたが、その声を1週間後にゲームの中で聞いた時には、思わず笑みが溢れたことを今でも良く覚えています。父の仕事に対する夢と情熱は、常に私を刺激し、将来的には独立して事業を興すという決心をさせました。

その後、私は、スウェーデン王立工科大学を卒業するまで Computer Science を勉強してきましたが、就職では技術的な道は選ばず、将来の起業を見据えて事業開発を主とする三井物産へ入社しました。その時点で将来的に起業を目指して MBA に進学することは自分の中で決めていました。MBA に拘ったのは、世の中に新しい価値を生む事が出来るグローバルな会社を興したい、その為には、ビジネスモデルを徹底的に詰め、起業家・経営者としてのセンスを磨き、国際的なネットワークを築くことが必要だと思ったからです。

受験について

私は、受験準備では相当苦戦しました。本格的に準備を開始したのが、2011年の10月頃で留学先が決まったのが、2014年の3月です。凡そ、2年半準備したことになります。受験校は、米国MBAのトップスクール8校。合格したのはHarvard Business Schoolのみでした。

大学・大学院の時に、約3年間の留学経験がありましたが、MBAのトップスクールで要求されるGMATやTOEFLのスコアを出すことには相当苦戦しました。MBAのトップスクールに合格する為には、GMAT 700、TOEFL 105がボーダーとされているので、そこを目指して勉強しました。色々な予備校に通ったり、参考書を自習したりしましたが、いちばん大きくスコアが伸びた要因は、ひたすら英語を読んだ事だと思います。私は、100万語を読破しようと、簡単なペンギンリーダーズの本から興味のある分野、苦手な分野の洋書まで毎日時間を決めて読み続けました。大体100万語に到達したころに飛躍的にスコアのブレイクスルーがありました。

スコアが取れた後は、エッセイです。私の場合は、書きたいこと、伝えたいことはかなり明確に決まっていたので、大半の時間はそれをどう伝えるかということに使いました。エッセイの質が劇的に変化したのは、在校生や卒業生の方にお会いし、徹底的にアドバイスをもらい、それを毎日反映させて修正を重ねてからだと思います。やはり、どんなに頑張っても自分の目だけでは気付けないことはありますし、その学校のことを良く知っている在校生や卒業生からアドバイスをもらい、それを踏まえて改善させることは極めて重要です。

最後のインタビューについても、Harvard Business Schoolは、入学審査官が直々に質問攻めの厳しいインタビューをすることで有名でした。この対策として、想定問答を200弱準備し、それがあ程度空で言えるようになってからはひたすら模擬練習をこなしました。結果として、面接官の質問には詰まることなく全て回答出来、晴れて合格通知をもらいました。私の場合は、合格したのがHarvard Business Schoolのみだったので、どの学校に行くか悩む必要もありませんでした。

最後に

私が、Harvard Business Schoolに合格出来たのも、周囲の方から支援してもらったからこそその結果だと本当に思っています。MBA受験を暖かく見守って下さった会社の上司・先輩・同僚・後輩、親身になってMBA受験の相談にのってくださった在校生・卒業生・カウンセラー、長い受験準備で共に励まし合った友人達、私の決断をサポートしてくれた両親、今まさに支援して頂いている船井情報科学振興財団の皆さま、本当に多くの方に支えられています。応援して下さいた皆さまには、本当に感謝しております。これから、世の中を変える事が出来るような起業家へと成長し、ビジネスを通じて自身の目標である「更なる現代社会と自然との調和」を実現して行きたいと思っております。